

2019 年度

韓国留学報告書

留学先：慶熙大学

留学期間：8月31日（土）～12月26日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018064
高田佳歩

目次

1	留学先および留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学の目的	4
4	留学内容	4
	4-1 留学先でのスケジュール	4
	4-2 スケジュールの詳細	8
5	所感	10
6	謝辞	10
7	付録	
	留学日記	11

1. 留学先および留学期間

留学先：慶熙大学校 国際教育院

留学期間：令和1年8月31日（土）～令和1年12月26日（木）

2. 留学先概要

◎大学について

キャンパスは寄宿舍から歩いて10分程度の距離で、多くの有名人も輩出している大きな大学である。留学先のソウルキャンパスの他にもう二つキャンパスがある。学部数も多く、建物も充実している。

◎国際教育院について

留学性1人につき慶熙大学の生徒1人が韓国語を教えてくれる「トウミ制度」というものに力を入れている。この制度により、韓国の生活や言語がより充実していったものになるだろう。さらに国際教育院では留学生も多く各国の留学生とも交流することができ、充実した留学生生活を過ごすことができる。

◎国際教育院での学習について

韓国語専攻は、初級1・2、中級1・2、上級1・2に分かれており、自分達に合うように学習しやすい構成となっている。

3. 留学の目的

留学の目的は、主に言語力の向上と、文化を直接学ぶことである。言語は国際情報大学でも学ぶことができるが、韓国に留学をしたら学校の授業、店や人との交流もすべて韓国語で話さなければならない。その結果、リーディングとスピーキングが自然と身につく、言語力の向上を目的とする。

文化は今ではネットなどで簡単に検索出来てしまうが、人から見るものより、自分の目で直接確かめ体験することによって、韓国の文化をより深く知ることを目的とする。

4. 留学内容

以下に留学の内容について説明する。

4-1. 留学先でのスケジュール

留学のスケジュールは以下の通りである。

8月31日（土） 日本出国 入寮

9月2日（月） 日程

時間	内容
9:00~9:30	オリエンテーション
9:30~10:00	広報ビデオ視聴
10:00~11:30	レベルテスト
11:30~	キャンパス内見学

9月3日(火)～9月11日(水) 時間割

月	日	午前 (9:00~13:00)	午後 (14:00~16:00)
9	3 (火)	韓国語	韓国事情
	4 (水)	文法+読み書き	セミナー
	5 (木)	現地学習①	
	6 (金)	韓国語 文法+読み書き	
	7 (土)		
	8 (日)		
	9 (月)		映像韓国語
	10 (火)	韓国語 文法+読み書き	セミナー
	11 (水)		韓国事情

◎9月12日~15日 秋夕<<チュソク>>

(日本でいうおぼん)

9月16日(月)～20日(金) 時間割

日	午前(9:00~13:00)	午後(14:00~16:00)
16(月)	韓国語 文法+読み書き	映像韓国語
17(火)		セミナー
18(水)		韓国事情
19(木)	現地学習②	
20(金)	韓国語 文法+読み書き	

10月1日(火)～12月6日(金)

10週間時間割

曜日	午前		午後
月	韓国語 文法	韓国語 機能	映像韓国語
火			セミナー
水			韓国事情
木			韓国の大衆文化
金			

10月11日(金) ハングル書写大会

◎11月5日(火)・6日(水) 中間テスト

11月11日(月) 現地学習 南怡島

11月27日(水) 現地学習 景福宮 チマチョゴリ体験

◎12月5日(木)・6日(金) 期末テスト

12月11日(水) 修了式

12月12日(木)~18日(水) 特別カリキュラム TOPIC 対策授業

日	午前	午後
12(木)	TOPIC 過去問題練習	韓国の詩
13(金)		
16(月)		映像韓国語
17(火)		セミナー
18(水)		韓国文化

12月19日(木) 国際情報 留学生のみの修了式

4-2 スケジュールの詳細

- ・土・日・祝日は休日、金曜のみ午前授業
- ・最初の一か月間の9月の間は国際情報の留学生のみで授業を行う。
- ・レベルテストは、作文と口述試験である。作文は今まで習ってきた文法を使い、韓国語のみで作成する。口述試験は先生と1対1の面接形式で行われる。

・10月からはそれぞれバラバラで他国から留学してきた人達と午前に韓国語の授業を受ける。他国の人たちと交流ができてとても新鮮で楽しいクラスだった。

- ・午後の授業では国際情報の留学生のみで集まり、韓国の文化を学んだ。

・歌の授業では、グループごとになって、一つの歌をグループで紹介し、歌詞の意味を知り、最後にみんなでその歌を歌うというとても賑やかな授業だった。

・特講では、韓国の文化を直接体験できるものばかりでとてもためになった。文化と言っても歴史だけでなく、料理やダンス、スポーツに今まで体験したことがない文化を韓国で体験することができた。

・セミナーでは韓国語で韓国と日本の文化の違いを説明する授業を行った。パワポも発表もすべて韓国語だったので、大変だったが、午前の授業をそのまま生かすことが出来てよかった。

・映像韓国語授業ではドラマを見て実際にその部分を自分たちでセリフを読んで、撮ったり、最後は自分たちでストーリーを作りドラマを作るという授業をして発音と聞き取りの向上に繋がった。

・現地学習では、一番最初に N ソウルタワーに行き、韓国を見渡した。上から見る韓国はとても綺麗で広大だった。次にロッテワールドアクアリウムとロッテワールドに行った。あいにくの雨だったが、室内にも遊園地があり、十分に楽しめた。11月には、冬のソナタの撮影地である南怡島に行った。かなり寒かったが紅葉が綺麗で幻想的だった。その後に日本でも有名なチマチョゴリを体験しに景福宮に行った。自分で好きな色のものが選べて、ヘアなどもしてくれるので楽しく体験することが出来た。

・中間テスト、期末テストは、午前の授業で行う、「文法」、「読解」、「書き」、「聞き取り」、「話す」の5つであった。しっかり授業を聞いていれば落とすことはないので、復習や予習なども積極的にやったほうがよい。

・最後の TOPIC 対策授業は、いきなり難易度が上がった。習っていない文法や分からない単語も多く、勉強が足りないと感じた。TOPIC がどのようなものであるのか、ここで知ることが出来た。

5. 所感

当初目的・目標の達成度

今回の留学の目的の達成度についてそれぞれのまとめ

1) 語学力の向上

留学前の韓国語では言葉もあまり通じず、聞き取りも難しかった。また韓国に着いたとき、お店の人が何を言っているか分からず、大変苦労したが、1ヵ月、1ヵ月勉強をしていくうちに、お店の人や周りの人が何を言っているのか理解できて語学力は確実に身につけていると感じた。お世話になった先生方とコミュニケーションを前より取ることができるようになって、とてもうれしかった。やはり現地で学び生活していくことは語学力が上がる一番のことだとこの4ヶ月で感じた。

2) 文化の体験

日本では韓国の文化をネットや本などで見ることしかできなかった。ネットや本などで知った文化をこの留学で直接体験できたことはとてもいい経験になった。直接体験した方が記憶に残り、ネットや本などで知ったものとは違うということもあったので、文化の体験を直接体験することでより深く知ることができた。

3) 課題点

留学は行って満足ではなく、日本に帰っても韓国語の勉強をするべきと感じた。語学に終わりはないので、今後も留学で学んだことを生かしながら精進していくべきである。

6. 謝辞

私たちの留学生活を支えてくださった、慶熙大学国際教育院の김은정先生、석진주先生、이선중先生をはじめ、教授の方々、その他今回の留学に関わっていただいた方々にも深く感謝申し上げます。また、留学前や留学でサポートしてくださった申銀珠先生、吉澤文寿先生、学務課の方々には心より感謝申し上げます。さらに本学からいただきました奨学金により、今回の留学参加が実現できたことを、心から感謝いたします。

皆様方にいただいた留学という貴重な経験を忘れずに日々精進していきます。

7 付録

留学日記



9月5日に現地学習で行ったロッセワールドの写真



ハンゲル書写大会の時の写真



11月11日に行った南怡島でクラスのみなどと撮った写真



11月27日に現地学習で行った景福宮でのチマチョゴリ体験の写真



12月19日最後の修了式の写真